

鷹巣地区の概況について

鷹巣地区は、福井市市街中心部から約 25km 西部に位置し、砂浜 2km と七浦 5km の海岸段丘が続き、海岸には岩礁が散在して四季折々の景観を楽しめるところです。

鷹巣地区は、東西 7.5km、南北 5km、面積は 19.33k m²あり、うち山地部が 87%を占めています。この地域で最も高い山は高須山（標高 438m）で山頂には鷹巣山城址があります。沿岸部一帯は越前加賀国定公園に指定されており、地区内には北陸で有数の広さと透明度を誇る鷹巣海水浴場があります。また、免鳥地係に県内で最大級の免鳥長山古墳（3方にテラス状の作り出しを持つ帆立貝式古墳、全長 90m）があります。

鷹巣公民館の概要

●公民館の設立と経緯

昭和 26 年 4 月	鷹巣村教育委員会主事が公民館主事を兼ねる
昭和 33 年 1 月	川西公民館誕生と同時に鷹巣分館が設立される
昭和 42 年 5 月	川西が福井市に合併、鷹巣公民館に衣替え
昭和 55 年 4 月	菘町 16-2-1 の現在地に鉄筋コンクリート 2 階建て 500 m ² が新設される
昭和 62 年 1 月	臨海事業関連資金により平屋建て 145 m ² の講堂が新設される
平成 28 年 5 月	公民館前の駐車場（菘町 14-7）に移転新築工事が決定した
平成 29 年 7 月	公民館安全祈願祭を挙行了した
平成 30 年 4 月	鉄筋コンクリート造 2 階建て延べ面積 513.56 m ² の新館が完成
平成 30 年 5 月	鷹巣公民館竣工記念式典を挙行 現在に至る

